

米原歴史街道

米原市の歴史・文化財を歩く

164

米原市の歴史文化の特徴②

— 水が流れる地 —

「水」と「巷」がキーワード

前回に引き続き、米原市の歴史文化を「水」と「巷」というキーワードで読み解いていきたいと思います。両者はそれぞれが独立したのではなく、交わることで米原市独自の文化を育んできました。

伊吹山に坐す神は、数々の山や川、海の神々を討ち果たしたヤマトタケルを死に追いやつたことで、人々から荒ぶる神として畏れられました。この『古事記』『日本書紀』に描かれた神話は、伊吹山が世界最大の積雪量を誇っているように、人を拒絶するような厳しい自然環境であったことを物語っています。しかし、米原の人々は、そんな荒ぶる神と対決するのではなく、共生する道を選びました。それは伊吹山が、豊富な水をはじめとして、様々な資源をもたらす山であったからに他なりません。古代から現代に至るまで、自然と共生した結果、米原市の独自の景観や食文化、生活文化が生み出されたのです。

伊吹山・霊仙山から流れ出る天野川、姉川の各水系、そして琵琶湖岸の内湖には、縄文時代以降の人々の生活の痕跡が確認されており、水がもたらすさまざまな恩恵

を享受していました。そして、米原ではその水を生かした豆腐作りや養鱒、また伊吹山の水と地質と気候が生み出した薬草は、古代から名産として知られ、現代にまでつながっています。

自然との共生

しかし、一方で姉川水系は梅雨が終わると渇水することが多く、数多くの井堰が作られました。現在では姉川合同井堰が作られ水不足の心配が解消されたものの、長らく水不足は地域の課題でした。中世から続く三島池や、その始まりが古代からともいわれる姉川用水のひとつである出雲井などは、課題を克服するための人々の知恵です。

自然との共生は、生業の点からも見ることが出来ます。霊仙山の登山口にあたる上丹生は、山間部で田畑の耕作地に恵まれないこと、一方で豊富な木材資源に恵まれていたことを背景に、江戸時代以降、林業、木挽き、製材、指物、木地師、彫刻師などの材木関係産業の集積地となり、仏壇産業が盛んになりました。また、入江内湖と琵琶湖を区切る砂洲上に位置する

磯は、外湖、内湖共に漁ができる立地を生かし、近世には入江内湖の特権的支配権が認められるほどの有力漁村でした。現在でもその漁村としての景観を残しています。姉川の源流域、山あいの集落である東草野地域は、近畿でも有数の豪雪地帯ですが、麻織り、石臼、竹刀作りなどを冬季の副業として発達させ、山間部でありながら、峠の道をつまなく生かし、岐阜県側の西濃山間部旧坂内村や滋賀県旧浅井町など、つながりながら自然と共生してきました。また、川や湧水に代表される水辺には人が集まりました。旅人たちがふと立ち止まり、安息の地ともなっていた、「居醒の清水」で知られる醒井宿のような宿場町がその代表格です。清らかな水にのみ育まれる醒井の梅花藻、水が描いた自然の造形美である醒井峡谷、豊富な湧水を巧みに生かした青岸寺庭園(米原)などは自然と人との共生によつて生まれた情景です。

(生涯学習課)



出雲井五川分水(間田)

消費生活相談コーナー

5月は消費者月間です!

考えよう!大人になるとできること、気を付けること
～18歳から大人に～

消費生活相談員より一言

18歳の高校生がオンラインゲームで高額課金をしてしまい、未成年者契約で取り消しをしたい場合でも、今後は取り消しができないこともあります。

成年になると、多くのことを自分で決めて行えるようになりますが、責任が伴いますので、正しい知識を身に付けて行動しましょう。



「おかしいな」と思ったら
一人で悩まず、
まずは消費生活相談窓口へ
ご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)
相談専用 ☎53-5110
(受付) 平日 9時30分～16時

米原警察署情報 岡米原警察署 ☎52-0110

山岳遭難事故防止

例年、無計画や準備不足による悲惨な山岳事故が発生しています。次のことに注意して安全な登山を楽しんでください。

1. 計画を立て、装備をしっかりと整えましょう。
2. 登山届を提出しましょう。
3. 道に迷ったら、来た道を引き返すのが基本です。
4. 携帯電話が繋がれば、110番してください。



登山届は、各登山口に設置された登山箱への届出のほか、事前にインターネット上の「インターネット登山箱」や「コンパス登山箱」からも提出できます。



令和4年市内交通事故数 (3月末時点)

件数 20件(+9件) 死者 0人(-2人)
傷者 27人(+17人) ※()内は前年比